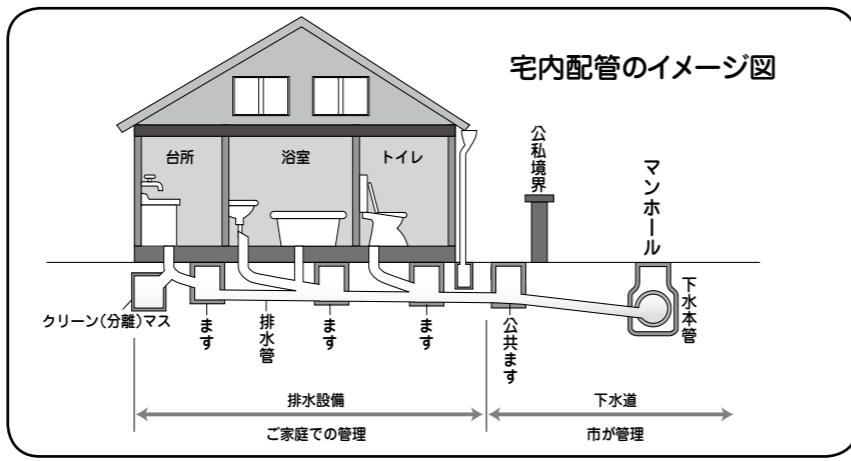


タオルなどの布や紙オムツなどの水に溶けない紙、ゴルフボールや木片が下水道へ流れ込んだことにより、汚水を下流へ送水するポンプが壊れるという事例が実際に起こっています。
これは、皆さんが気をつけることにより防ぐことができます。

年に数十件は処理施設に異常が発生しています



ちょっと待って!それは流しても大丈夫? 下水道はルールを守って使いましょう!

下水道課管理係 ☎0824-73-1175

「公共下水道」「農業集落排水」「浄化槽」は何でも流せるというものではありません。これらの処理施設や排水管は、ルールを守って使用しないと汚物が詰まり壊れてしまう恐れがあります。排水管が詰まってしまうと、悪臭が

発生し汚水があふれ出るなど生活に支障をきたすことはもちろん、環境汚染にもつながります。

いま一度、下水道使用のルールを確認し、正しい利用で快適な生活を送りましょう。

下水道使用のルール



水に溶けない紙(紙おむつやティッシュペーパーなど)は流さない。

誤って異物を流してしまった場合は、すぐに下水道の使用を中止し、宅内マスから取り除くか下水道設備業者へ相談する。

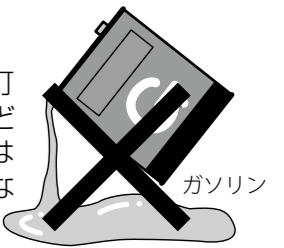


油や残飯を流さない。油は新聞紙などに染み込ませて、燃えるゴミとして出す。



クリーン(分離)マスは定期的に掃除をする。

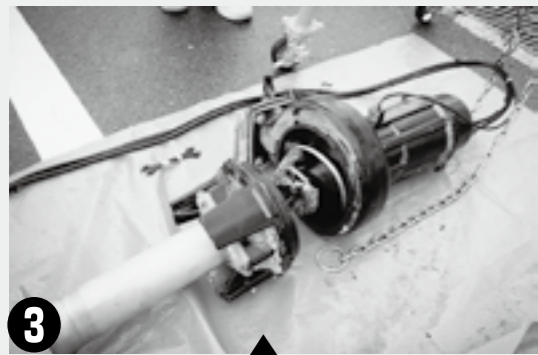
ガソリンや灯油、劇薬などの有害物質は絶対に流さない。



1 ポンプの異常を検知したマンホールへ向かいます。



2 調査するとマンホールに設置しているポンプが止まっていたので、引き上げて修理します。



3 これがマンホールに設置しているポンプです。

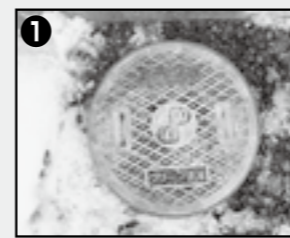


4 衣類が詰まったことが原因で、ポンプが止まりました。

ポンプの異常を検知!!
実際の修理を見てみましょう

クリーン(分離)マスを設置しているご家庭の方へ クリーン(分離)マスを清掃しましょう!

台所からの排水は一度「クリーン(分離)マス」に入ります。このマスは生ゴミや油分が下流に流れないように、管の詰まりを防ぐ役割があります。しかし、放っておくと油分が固まり、排水が流れなくなったり、汚水があふれ出たりすることがあります。1か月に1回以上を目安にふたを開け、油のかたまりや固形物を取り除いてください。



1 クリーンマスを探す
台所排水の下流側にあります。



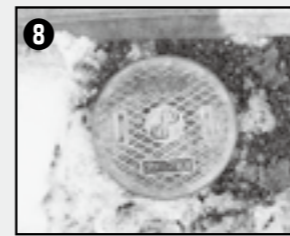
2 ふたを開ける
きつく閉まっている場合はマイナスドライバーなどでこじ開けます。



3 かごを外す
携帯電話などを落さないように。



4 野菜くずや油などを取り除く
残らずすくい上げます。



5 ふたを閉める
空けたままだと石や土砂などが入り込みます。



6 ゴみを処分する
除去物は水を切り、燃えるゴミとして出します。



7 マスやかごを洗浄する
ホースやブラシなどを使い、汚れを落とします。



8 ゴみを新聞紙などに包む
放置したり、排水路に流したりしないように。

※一例ですので必ずしもこの手順を踏む必要はありません。
※特に汚れがひどかったり、詰まっていたりする場合は、専門の業者に相談してください。

処理場は、微生物の力を借りて汚水をきれいにしているよ。有害なものが流れてくると微生物が死んでしまい、汚水をきれいに出来なくなるから絶対にめてね。



下水道協会キャラクター
スイスイくん

環境を保全するためにも、区域内で下水道へ未接続の方は一日でも早く接続してください。浄化槽処理区域で浄化槽を未設置の方は、浄化槽設置をご検討ください。

井戸水など(上水道以外の水)をご使用の方へお願い
下水道、農業集落排水、市町村設置型浄化槽をご利用で、上水道以外の水を使用している方が、使っている水の種類が変わったり、使用人数が変わったりした場合は届け出が必要です。使用料の計算方法が変わりますので速やかに届けください。
例
○井戸水のみ使用から、上水道と井戸水の併用になった
○転入、転出、死亡、進学などにより使用人数が変わった